

専徳寺報

第487号

令和7年4月25日発行

浄土真宗本願寺派

専徳寺

〒740-0044 岩国市通津2764
☎0827-38-1124 FAX38-1000

<http://sentokuji-iwakuni.net/>

岩国 専徳寺

検索

宗祖降誕会法要

御案内

宗祖親鸞聖人のご誕生の法要を賑々しくとりおこないます。二日間、ご参詣をお待ちしております。

日時

5月20日(火) 昼13時半～15時半
21日(水) 朝10時～12時
(二日目のみ)

※お赤飯のお下がりがあります。
※長寿のお祝い



ご講師

本願寺派布教使 中島昭念 師 (美祢東組明嚴寺)

※19回目のご来講です。

【長寿のお祝い】

生涯お聴聞を念願し、長寿のお祝いをいたします。



・次の方(満年齢)が対象です。

還暦(昭和40生)、古希(昭和30生)、喜寿(昭和23生)、傘寿(昭和20生)、米寿(昭和12生)

・二日目の法座(朝10時から)にお参りできる方に限ります。

・5月15日までにご連絡ください(☎38-11124)。

●参拝セット(①お念珠、②聖典、③門徒式章、④聴聞カード)

花まつり (4月13日)

【参加者】20名

【倶楽部】小方基史、白田憲光、中崎寛、半田正昭、村中紀一郎、森田幸一。

当日の朝はあいにくの雨。初めてパレードを中止しました。けれどもたくさんの子が遊びに来てくれました。「はなまつり」の紙芝居を読んだら、「おしゃかさま」のジャンボカルタで遊びました。片付けが終わった頃、悔しいくらい晴天に。



寺内だより

み仏にいだかれて

【葬儀勤修】

定例総代会 (4月23日)

令和6年度の門徒講金決算報告、令和7年度門徒講金予算案について審議いたしました。

また昨年より計画している宗祖ご誕生850年・立教開宗800年の記念事業「境内整備」について、様々な意見が出ました。

お念仏させてもらわな

星野親行

「なあ、みっちゃん、お母さんの作ってくれたお料理はおいしいなあ。」

「うん、お母さんの作ってくれたお料理はおいしいなあ、のりくん。」

夕食を呼ばれていまして、時々、ほんとうに時々ですが、上の二人の子供が、こんな事を言いながらごはんをよばれていることがあります。

そんなとき、母親は照れたような顔をしながらもやっぱりよろこんでニコニコしています。自分が子供のために思っで作った料理を子供が喜んで食べてくれるというのは、それはうれしいことだろうなと思います。

これはね、親の欲目
と言えはそれまでです
が、私は、母親の料理
を作ったときの気持ち
が料理を通して、子供



たちに届いておることであると思います。

言葉をかえますと、子供が母親の作ってくれた料理を食べることによって、その料理を通して母親の気持ちを受けとっておるのではないかと思うのであります。

母親が、子供のためと思って作った料理には、その母親の気持ちがこもっておるのであります。

先にも申しましたように、子供たちはいつもいつも「おいしいなあ」言うて食べている訳ではありません。しかし、親の方からはいつも出来るだけの気持ちをこめて食事の準備をしておるのでしよう。

今、私たちが申すお念仏がその通りであると言えます。「なもあみだぶつ」あるいは「なんまんだぶ」または「なんまんだ」とわれわれがご相続させていただく「お念仏」は、阿弥陀様が「必ず私の浄土へ生まれて帰ってきてくれよ、そして、お願いだからお念仏申し

ながら日暮らししてくれよ。」という阿弥陀様の願いの心がすべてこもったものであります。子供が、母親の作ってくれた料理の味を通して母親の心を味わうように、私は自ら申す「お念仏」を通して阿弥陀様の「必ず浄土へ帰ってこいよ、お念仏してくれよ」という願いをお聞かせいただくのであります。

食事といいますが、昨年の報恩講様で、利井明弘先生が、

「信というのは聞き受けることだね、そのことを善導大師は餐受さんじゅとおっしゃっています。これは食事、食べることです。

この言い方が有り難いんです。なんやいうたらね、食べる言うことはね、食べるだけでええねん。覚えんでもええ言うこと



です。

皆さん十日前に食べたもん覚えてる？ 覚えてないでしょ。これ、ちゃあんと覚えとかんと栄養にならん言われたらえらいことやでえほんまに。

それからね、もう一つはためとかんでもええねん。

十日間トイレ行つてへん人おる？

おつたらえらいことやでえ、病氣や。

信と言うのはねえ、覚えんでもええ、溜^ためんでもええんです。「なんまんだぶ、なんまんだぶ」というお念仏のその時に、「ああ、間違いないねんなあ、

阿弥陀様一緒に居^おつてくださつとるんやなあ」と聞き味わつていくんです。これが信です。

ほんでねえ、ここで一番大事なのは、十日間ごはん食べてない人ないでしょう。十日間食べへんかったらいのちないよ。

お念仏もこれと同じです。お念仏ご相續させてもらわな。

僕はね、「十日間お念仏しなかった

ら心が死ぬと思え」と言うています。

心が死んだらどないなるかいいうたらね、「損や、得や、あいつが悪い、私が正しい」いうて言い出すんです。

お念仏御相續してね、「ああ、阿弥陀様が見とつてくださつてるんやなあ、自分勝手なこと言うたらいかんねんなあ」と、お念仏の中に阿弥陀様のお心を聞かせていただくんです。おねんぶつご相續させてもらわな。」

とおっしゃつておられたことを思い出します。

不思議にも阿弥陀様のご縁に遇い、「南无阿弥陀仏」というお念仏のおいわれをお聞かせいただくご縁に恵まれました私たち。改めて、阿弥陀様の親心を味わわせていただきつつ、お念仏ご相續させていただきたいものであると思います。

『莫不聞焉 ―聞こえざるなし―』

77〜81頁より

おゆずりします

法話集『莫不聞焉 ―聞こえざるなし―』

専徳寺の法座にもお参りくださる濱井さんご夫婦が、この度、ご両親の年忌法要をご縁に、法話集『莫不聞焉 ―聞こえざるなし―』を発行され、専徳寺にもご惠贈くださいました。

「お念仏お聴聞のご縁を一人でも多くの方々に相續していただきたい」と、大阪の行信教校の星野親行先生にご依頼されできあがったものです。

文字も読みやすく、内容も豊富で、大変ありがたい読み物です。

ご希望の方はおゆずりします（郵送もします）。どなたでも結構です。どうぞご連絡ください。

この法話集をご縁に一人でもみ教えを喜ぶ人が増えたなら、濱井さんと私と前住職、何よりの喜びです。
(住職)



● おめでとつございます

● 法物下附式「入仏式」・遷仏式

● お給仕の慶び一入にございます。

2024(令和6)年度 専徳寺門徒講金決算

収入 2024/04/01~2025/3/31

費 目	決算額
1 門徒講金	2,622,000
現金	272,000
振替	2,350,000
2 貯金利息	923
3 会館利用費	70,000
4 繰越金	1,722,152
歳入合計	4,415,075

支出

費 目	決算額
1 納付金	703,720
本山	384,020
教区	283,900
組	35,800
2 印刷費	188,040
3 通信費	319,863
4 カレンダー費	129,000
5 教化助成費	160,000
総代	0
仏婦	80,000
仏壮(専徳寺倶楽部)	50,000
キッズサンガ	30,000
6 事務費	20,000
7 振込手数料	66,922
8 火災保険	756,642
9 火災保険基金	200,000
10 白アリ防除	522,500
11 記念事業	1,000,000
12 核家族対策費	0
13 予備費	0
歳出合計	4,066,687

繰越金	348,388
火災保険基金	400,000
記念事業	1,000,000

2024(令和6)年度の決算書は適正であることを認める。

令和 7 年 4 月 23 日 監査 浅井 佐 印

監査 山本 正輝 印

2025(令和7)年度 専徳寺門徒講金予算

収入 2025/04/01~2026/3/31

費 目	予算額
1 門徒講金	2,400,000
現金	200,000
振替	2,200,000
2 貯金利息	612
3 会館利用費	100,000
4 繰越金	348,388
歳入合計	2,849,000

支出

費 目	予算額
1 納付金	761,600
本山	400,000
教区	300,000
組	61,600
2 印刷費	200,000
3 通信費	320,000
4 カレンダー費	129,000
5 教化助成費	240,000
総代	80,000
仏婦	80,000
仏壮(専徳寺倶楽部)	50,000
キッズサンガ	30,000
6 事務費	20,000
7 振込手数料	70,000
8 火災保険	756,642
9 記念事業	100,000
10 予備費	251,758
歳出合計	2,849,000

◆総代長就任の挨拶

白田 憲光

慈光照護のもと、ご門徒の皆様方におかれましてはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

このたび、村河多丸総代長ご逝去にともない、後任として総代長の重責をお受けする事となり身の引き締まる思いでございます。

益々聞法に励むとともに微力ながら、御法義繁盛のお役にたてればと思っております。

専徳寺は当山開基四百年、親鸞聖人生誕八百年、立教開宗八百年と節目を迎えています。



歴史あるお寺、大切なみ教えの護持継承を、ご門徒の皆様とともに考えご縁をいただいて参りたいと思います。ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

お寺の法座など行事につきましても、ご住職、坊守様を始め、総代、仏婦、法要総代、専徳寺倶楽部の皆様、他お世話をいただく皆様のご協力をいただき、ご門徒の皆様が安心してご参拝いただける様努力して行きたいと思っております。

昨今男性や、若いご門徒様の法座へのご縁が少なく寂しい思いをいたしております。是非機会を捉えられお寺へ足をお運び頂ければと思います。

総代長就任に当たりご門徒の皆様へ、ご挨拶とお願いを申し上げます。

今呈

●ご恩を偲びました(法事勤修) 2月22日~4月21日

●ありがとうございます

今津の藤岡美津枝様より、亡くなられた御尊父が大事にしていた「コブシの木」をいただきました。親鸞聖人像の北側に植樹しました。

